



市民参加型 市政づくり

市民連合会報

発行所 鹿児島市議会市民連合議員団
〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号
TEL・FAX099-224-7353 内線4061・4062・4063
mail:shimin@kagoshimashigikai.com

鹿児島市議会議員
さんたんぞの
三反園 輝男
議会報告

令和三年第三回定例会終了

令和3年第三回鹿児島市議会定例会は9月1日から27日までの27日間開催されました。
提案された30議案のうち、第6次鹿児島市総合計画、令和2年度決算議案を除く14議案を原案どおり可決・承認・同意して終了しました。第6次鹿児島市総合計画は10月に、令和2年度決算議案は11月にそれぞれ審査を行います。わが会派からは、代表質疑を片平議員が、個人質疑を三反園議員がそれぞれ行いました。
主な議案・質疑内容は以下のとおりです。

一般会計を補正

歳入歳出予算の総額にそれぞれ13億7026万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2705億4507万8千円としました。

自動車を購入

・小型動力ポンプ積載車6台
購入金額4672万8千円
配置先・福平分団、荒田分団、清水分団、桜塚分団、高免分団、吉野分団の6分団
・ごみ収集車6台
購入金額4897万2千円

タブレット端末を購入

購入金額 4950台
2億1370万9千円
今回の購入で市内の小・中学校すべての児童・生徒が使用可能となります。

パブリックコメントを実施

- 1 鹿児島市過疎地域持続的発展計画（素案）
募集期間…9月22日から10月21日まで
- 2 第二次鹿児島市教育振興基本計画（素案）
- 3 第3期鹿児島市農林水産業振興プランの素案
- 4 鹿児島市中小企業振興基本条例（仮称）の素案
- 5 第2期鹿児島市商工業振興プランの素案
- 6 第4期鹿児島市観光未来戦略（素案）
- 7 第二次かごしま都市マスタープランの素案
募集期間…10月1日から11月1日まで
- 8 第三次鹿児島市環境基本計画（素案）
- 9 ゼロカーボンシティかごしま推進計画（素案）
- 10 鹿児島市再生可能エネルギー活用計画（素案）
- 11 第二次鹿児島市生物多様性

大規模盛土造成地等の点検を実施

静岡県熱海市で発生した土石流災害を受けて、大規模盛土造成地と土砂の埋め立て行為のあった箇所（土捨て場）の点検を実施した。

一、点検の対象箇所

- (1) 大規模盛土造成地（県と連携）
本市の大規模盛土造成地991箇所のうち、県において抽出した100箇所。

【対象箇所】

土砂災害警戒区域（土石流）及びその上流域に位置する大規模盛土造成地

区分	箇所数
旧鹿児島市域	34箇所
吉田地域	37箇所
郡山地域	13箇所
松元地域	4箇所
喜入地域	12箇所

- (2) 土捨て場（市独自）
平成19年度以降に「鹿児島市開発行為、建築等

二、点検結果

- (1) 大規模盛土造成地
100箇所すべてにおいて、点検項目に関する異常は確認されなかった。

- (2) 土捨て場
盛土のり面の変状については、のり面の一部が崩れたものであるが、人的被害が生じるおそれはないことを確認した。

区分	箇所数
旧鹿児島市域	15箇所
吉田地域	5箇所
郡山地域	4箇所
松元地域	6箇所
喜入地域	2箇所
桜島地域	1箇所

三、今後の対応

不具合等が確認された土捨て場については、速やかな復旧や届出内容の変更手続き等の指導を行い、早期の是正完了に向けて取り組んでいく。

- 12 第四次鹿児島市一般廃棄物処理基本計画（素案）
募集期間…10月1日から11月5日まで
- 13 第四次かごしま市食育推進計画の素案
募集期間…10月1日から11月12日まで

おける災害の防止に関する条例」に基づく届出があった土捨て場（31箇所）、及び19年度より前に条例届出があり現在施行中の土捨て場（2箇所）の計33箇所。

代表質疑

問 令和2年度普通会計決算において、新型コロナウイルス感染症対応に要した額は。

答 コロナ対策経費は707億円である。

問 平成24年、令和3年の本市の国民健康保険被保険者のジェネリック医薬品の利用率は。

答 利用率は平成24年1月は46.0%、令和3年4月は86.1%となっている。

問 桜島ユースホテル跡地の活用は。

答 跡地については景観や泉源など敷地の特徴を活かす形で、検討してまいりたい。

問 本市の道路台帳のデジタル化へ今後の取り組みは。

答 導入済みの自治体からシステムの内容や課題について情報収集を行うなど、道路台帳のデジタル化に向けた取り組みを進めていく必要があると考えている。

問 学校内での感染症対策は。

答 教職員や児童生徒が変異株や感染症状況等について理解する時間を設定するとともに、教職員等による検温や授業時間

を5分短縮しての手洗いや換気等の時間の確保、CO₂モニターによる教室内の二酸化炭素濃度の測定など各学校の実情に応じた感染症対策を講じている。

問 自動車運送事業の3年度に予定する経営計画の見直しの方向性は。

答 当初8年度までにと見込んでいた収支均衡が難しくなってきたことから、計画期間を延長し、コロナ禍収束後の新たな社会に即した事業の再編等を進めながら減収等を踏まえた中で持続可能な経営基盤の確立を図ることとしている。

問 水道事業の施設整備に対する投資平準化への取り組みは。

答 中長期的な更新需要を見据え、「老朽水道管更新計画」等を策定し、これに基づき、計画的な更新や長寿命化を行い、事業費の平準化を図っているところである。

問 下水道施設の施設整備に対する投資平準化への取り組みは。

答 中長期的な更新需要を見据え、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、これに基づき計画的な更新や長寿命化を行い事業費の平準化を図っているところである。

個人質疑

問 8・6水害以降で本市において被害をもたらした主な豪雨は。

答 平成30年7月豪雨で死者2人、住宅の全壊1棟、令和元年6月末からの大雨で死傷者2人、住宅の全壊3棟、半壊2棟である。

問 今回の避難者のほか、災害危険区域内で避難されなかった市民に対し、アンケートを実施して市民意識を分析し、今後の対応に反映すべき。

答 アンケートについては、災害への備えに関する市政出前トーク等において、早い時期の実施を検討してまいりたい。

問 早期発注・分割発注について、特にコロナ禍において留意した点は。

答 地域経済活性化の観点から、早期発注や分割発注、平準化に向けた効果的な取り組みを進めることを、3年度の公共事業等施行推進本部会議で決定したところである。

問 分割できるものは分割に努め、受注機会の拡大を図るべき。

答 これまでも、可能なものについては分割発注を行い、受注機会の拡大に努めている。引き続き意を用いてまいりたい。

問 下鶴市長の公共事業予算確保に向けた決意は。

答 地域経済の活性化に果たす役割と重要性を踏まえ、一定規模の事業量を確保することは、必要であると認識しており、今後も優良財源の活用等も図るなかで可能な限り、予算の確保を図ってまいりたい。

問 移住世帯の家族構成、移住形態についてコロナ禍で特徴的なものは。

答 移住世帯の特徴的な変化としては、家族構成は子育て世帯が約3割で、感染症拡大前の約2倍となっており、移住形態はUターンが約6割を占め、感染症拡大前の約2割から大幅に増加している。

問 「ウッドショック」から何を学び、またそれらに対応するための本市の木材供給体制の認識と課題は。

答 輸入材に依存した木材の供給リスクが顕在化したことから、需要動向に応じた国産材を安定的に供給できる体制の構築が必要であると認識している。課題としては、経営環境の変化に対応できる林業事業体の組織体制の整備や、安定的な供給につながる需要の確保などがあると考えている。

意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

いつでもお気軽にご連絡ください。

☆鹿児島市議会市民連合議員団☆

〒892-0816 鹿児島市山下町11番1号

TEL・FAX 099-224-7353 内線4061・4062・4063

mail:shimin@kagoshimashigikai.com

